



アクティブ型ファンド充実!

日興アセットの

ノーロード シリーズ

「ノーロード世界株式トップフォーカス」

エンジンバラからのメッセージ



ポートフォリオについてお話しします

～ 業種構成比率トップのヘルスケアについて～

先月、設定後、初めてとなるマンスリーレポートをリリースし、ポートフォリオの内容を開示しました。2016年4月末基準のポートフォリオでは、組入銘柄上位にヘルスケアセクターの銘柄が多く組入られており、業種別構成全体でもヘルスケアがトップとなっています。今回、当ファンドの実質的な運用を担当する日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドのグローバル株式運用チームにおいて、ヘルスケアセクターを担当するファンドマネージャーにインタビューを行いました。次ページでは、その内容をご紹介します。

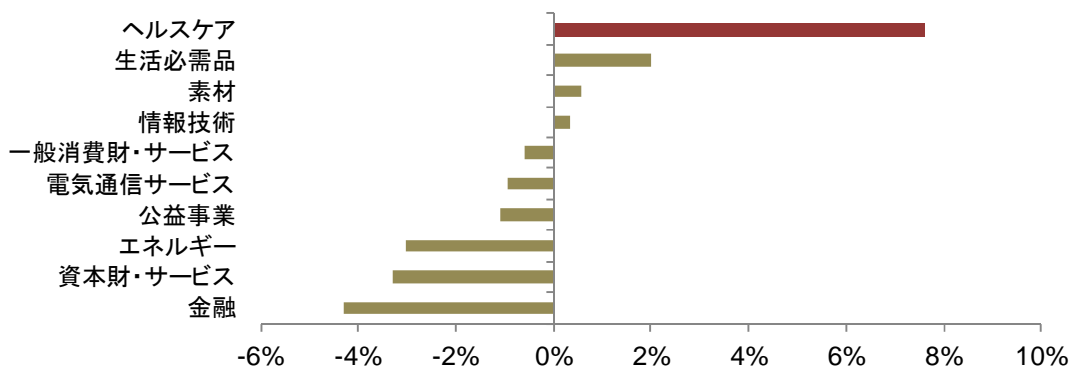
組入上位10銘柄
(2016年4月末現在) 組入銘柄数：47銘柄

	銘柄	国名	業種	比率
1	Microsoft Corp	アメリカ	情報技術	3.5%
2	Facebook Inc	アメリカ	情報技術	3.5%
3	AT&T Inc	アメリカ	電気通信サービス	3.0%
4	AbbVie Inc	アメリカ	ヘルスケア	2.9%
5	Advance Auto Parts Inc	アメリカ	一般消費財・サービス	2.6%
6	Shire PLC	アイルランド	ヘルスケア	2.6%
7	LivaNova Plc	イギリス	ヘルスケア	2.5%
8	Treasury Wine Estates Ltd	オーストラリア	生活必需品	2.5%
9	Laboratory Corp of America Holdings	アメリカ	ヘルスケア	2.4%
10	Sony Corp	日本	一般消費財・サービス	2.4%

業種別構成比
(2016年4月末現在)

	業種	比率
1	ヘルスケア	19.5%
2	金融	16.4%
3	情報技術	14.6%
4	生活必需品	12.5%
5	一般消費財・サービス	12.1%
6	資本財・サービス	7.3%
7	素材	5.7%
8	エネルギー	3.9%
9	電気通信サービス	3.0%
10	公益事業	2.3%

ご参考：業種別構成比（対MSCI ACワールド指数比）（2016年4月末現在）



※日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドより提供された情報に基づき作成しています。

※上記は、「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」における数値です。比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※MSCI ACワールド指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



Greig Bryson

今回は、グレッグにインタビューしました。

【他己紹介*】グレッグはどんなファンドマネージャー？

ストックピッカー（銘柄選定の専門家）として、特に医療分野に精通。発言の頻度は、他のメンバーと比べて多くないものの、思考が深く一言に重みがあるタイプ。元弁護士というバックグラウンドを持ち、分析力が高い。

* 他の5人のファンドマネージャーから寄せられた内容です。

【Q1】ヘルスケア業界の足元の動向などについて教えてください。

高齢化社会の進展に伴ない、ガンや糖尿病など慢性疾患の有病率上昇が見込まれるなか、ヘルスケア業界では、薬価の低下がどのように進むかが注目されています。需要増に伴う薬価上昇を回避するためには、技術革新やコスト削減といった企業努力が求められます。そのため、私たちは、ヘルスケア業界において、今後、魅力的な企業が増えると期待しています。

株式市場に目を向けると、ヘルスケア株式は、昨年夏ごろまで上昇基調であったものの、薬価が高騰するなか、米大統領候補であるヒラリー・クリントン前国務長官が、ツイッターで薬価引き下げに取り組むとの意向を示したことなどが影響し、下落基調となりました。ファンダメンタルズは良好であるものの、2016年に入ってからグローバル株式市場の下落などもあり、足元で、ヘルスケアセクターの株価は、バリュエーションからみて、魅力的な水準にあると考えられます。

私たちは、グローバル株式市場の中でも、**ヘルスケアセクターについて最も強気**にみており、ポートフォリオの組入比率も高い状況となっています。

【Q2】組入上位に入っているヘルスケア4銘柄について、魅力を教えてください。

「**AbbVie**（アメリカ）」は、医薬品・医療機器大手のAbbott Laboratoriesからの分社を経て、2013年に設立された研究開発型のバイオ医薬品企業です。昨年、ガン治療の大型医薬品を手掛けるPharmacylics社の買収に続き、今年もガン治療薬開発のStemcentrx社の買収を発表するなど、製品パイプラインの多様化を進めている点が魅力と考えられます。

「**Shire**（アイルランド）」は、希少疾患向けの薬を得意とするバイオ医薬品企業です。希少疾患向けの薬は、慢性疾患に比べて利益率が高い傾向にあります。今年、希少疾患向けの薬を開発するアメリカのバイオ医薬品企業であるBaxalta社の買収を発表しており、今後の新薬の開発が期待されます。

「**LivaNova**（イギリス）」は、ヘルスケア機器・サービス企業です。心臓外科、不整脈の診断・治療、神経調節などの分野に注力するほか、心血管疾患の治療薬などの開発も行なっています。最近、新薬が認可され今後の売上への貢献が期待されるほか、コスト削減が進められていることなどにより、利益率の改善が期待されます。

「**Laboratory Corp of America Holdings**（アメリカ）」は、臨床診断検査の大手企業です。売上の約75%が医療診断事業、約25%が臨床試験サービス事業となっています。前者はキャッシュ創出力の高い事業であることから安定した成長が期待されます。また、後者は、製薬会社から継続的にイノベーションを求められる分野であり、昨年行なった企業買収の効果などがプラスに働くと期待されます。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。上記銘柄について、当ファンドへの組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。
なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「ノーロード世界株式トップフォーカス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2026年3月16日まで(2016年3月31日設定)
決算日	毎年3月15日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率1.2164%(税抜1.13%)程度を乗じて得た額 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1664%(税抜1.08%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.05%程度となります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)